

2022年3月期 第2四半期 決算補足説明資料

2021年10月29日
株式会社ワコールホールディングス

皆さま、こんにちは。

株式会社ワコールホールディングス 取締役常務執行役員の宮城晃です。

この度は決算説明動画をご覧いただき、誠にありがとうございます。

それでは、ワコールホールディングスの2022年3月期 上期決算について、ご説明します。

【補足資料】 前年同期からの変更点

- 当期より、これまで「ワコール事業（海外）」セグメント内で計上していた「ピーチ・ジョン」ブランドの中国国内の売上高を「ピーチ・ジョン事業」セグメントでの計上に変更（過去のセグメント実績については遡及修正）
- 当期より、中国ワコールの百貨店等の売上について、総額表示（店頭価格ベース）に変更（当該変更の影響についての遡及修正は行わない）
※当第2四半期の売上高への影響額：1,203百万円

2ページをご覧ください。当期より適用となった会計基準の変更点について記載しております。

変更点の1つ目は、「ピーチ・ジョン」ブランドの中国国内の売上高についての計上先の変更です。2つめは、中国ワコールに係る収益認識についての変更です。なお、当該変更による上期の中国ワコールの売上高への影響額は、およそ12億円となっています。

【補足資料】 前年同期における特殊要因

- 当社は米国会計基準を採用しているため、雇用調整助成金は「売上原価」及び「販売費及び一般管理費」への戻し入れとなり、前期の「営業損益」の押し上げ要因
- 前期（21/3期）における雇用調整助成金など各国政府の支援による効果は、約53億円
- 当期（22/3期）においては、それらの利益貢献の裏返しによる影響が発生

		21/3期		
		上期	下期	通期
家賃の減免	日本	253.0	0.0	253.0
社会保険料の減免	中国	162.0	109.7	271.7
一時帰休による人件費の抑制	米国・英国	804.2	100.6	904.9
雇用調整助成金	日本・英国など	2,737.8	1,180.0	3,917.9
感染症拡大の影響に対する一時的支援の総額	日本・英国など	3,957.0	1,390.4	5,347.4

3ページです。次に、前期実績に含まれている特殊要因についてご説明します。感染症が拡大した前期は、雇用調整助成金などの各国政府の支援策が多くありました。当社は、米国会計基準を採用しているため、雇用調整助成金は「売上原価」及び「販売費及び一般管理費」への戻し入れとなり、前期の「営業損益」を押し上げています。また、家賃や社会保険料の減免、一時帰休の活用なども、前期の経費減少の要因となっています。これらの支援策により、前期の営業利益は約53億円押し上げられており、その内の約40億円が前期の上期実績に影響しています。当期においては、それらの利益貢献の裏返しによる影響が発生いたします。

- 感染症に対する規制の緩和によって、米国・欧州の商況は改善
- 7月以降の感染者数の増大などが影響し、国内の2Qは極めて厳しい状況で推移
- 営業利益は、欧米の増益が貢献し、大幅に改善

売上高 ➤ **874億円** 前年同期差 +143億円 (+19.5%) 前々年同期差 ▲140億円 (▲13.8%)

- 米国・欧州は、個人消費の力強い回復を背景に、感染症流行前の水準を上回る
- ワコールの2Q(7-9月)は、前年同期比▲17%（感染症や増税前の駆け込み需要の影響がない19/3期比で▲25%）

営業利益 ➤ **40億円** 前年同期差 +27億円 (+211.6%) 前々年同期差 ▲55億円 (▲58.1%)

- 米国・欧州は、増収効果により大幅増益。PJは、前年同期の高い水準を維持
- ワコール（日本）は、経費を前年同期並みの水準に抑制したことで、黒字を確保
- 雇用調整助成金や一時帰休などの一時的な影響を除いた実質ベースでは67億円の増益

税引前四半期純利益 ➤ **55億円** 前年同期差 +19億円 (+52.7%) 前々年同期差 ▲38億円 (▲41.0%)

- 有価証券・投資評価損益（純額）については、評価益2億円を計上（前年同期は16億円の評価益）

4ページです。上期実績についてのサマリーになります。

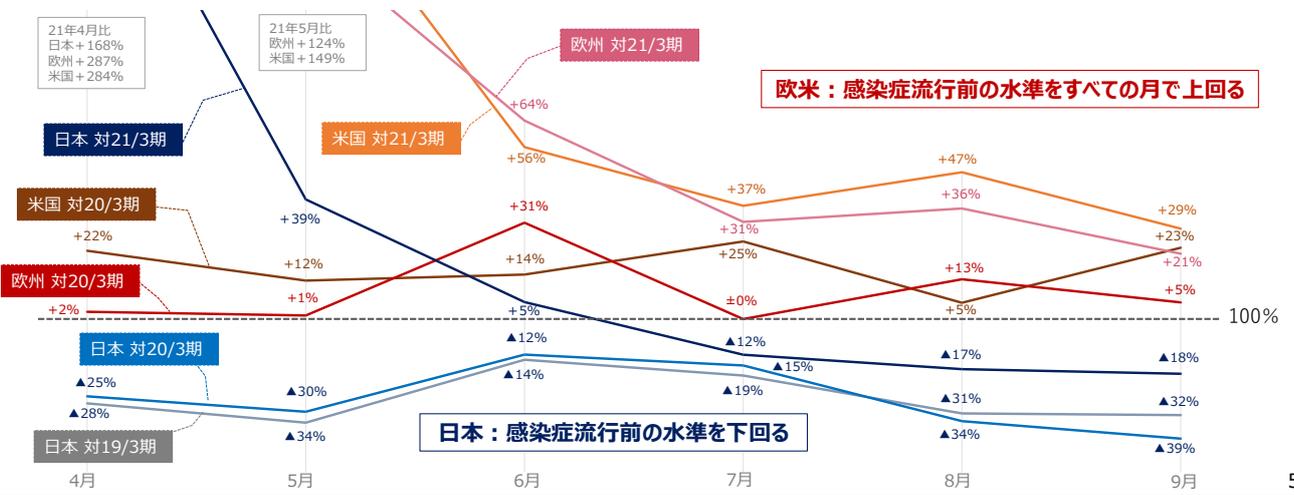
上期の連結売上高は874億円、前年同期に対して20%の増収となりました。米国や欧州は感染症対策の規制緩和以降、個人消費の力強い回復を背景に、好調を維持した結果、感染症前の水準を上回りました。他方、国内については、7月以降の感染者数の増大などが影響し、極めて厳しい状況で推移しました。営業利益は40億円となりました。先ほどご説明した雇用調整助成金などの利益貢献の裏返しがありましたが、欧米の増収効果に加え、ピーチ・ジョンの高い利益水準の維持や、ワコールの経費削減の進展により、前期に対して212%と大幅な増益となりました。税引前四半期純利益は、有価証券・投資評価損益が2億円の評価益となったことから、55億円となりました。

上期における売上高の推移（ワコール（日本）、米国ワコール、ワコールヨーロッパの比較）

※連結調整前のデータに基づいて作成

1H	日本 +6% (対21/3期) ▲27% (対20/3期) ▲26% (対19/3期)	米国 +73% (対21/3期) +17% (対20/3期)	欧州 +63% (対21/3期) +8% (対20/3期)
----	---	-----------------------------------	----------------------------------

1Q	日本 +46% (対21/3期) ▲23% (対20/3期) ▲25% (対19/3期)	米国 +131% (対21/3期) +16% (対20/3期)	欧州 +121% (対21/3期) +11% (対20/3期)	2Q	日本 ▲15% (対21/3期) ▲30% (対20/3期) ▲27% (対19/3期)	米国 +37% (対21/3期) +17% (対20/3期)	欧州 +30% (対21/3期) +6% (対20/3期)
----	--	------------------------------------	------------------------------------	----	--	-----------------------------------	----------------------------------



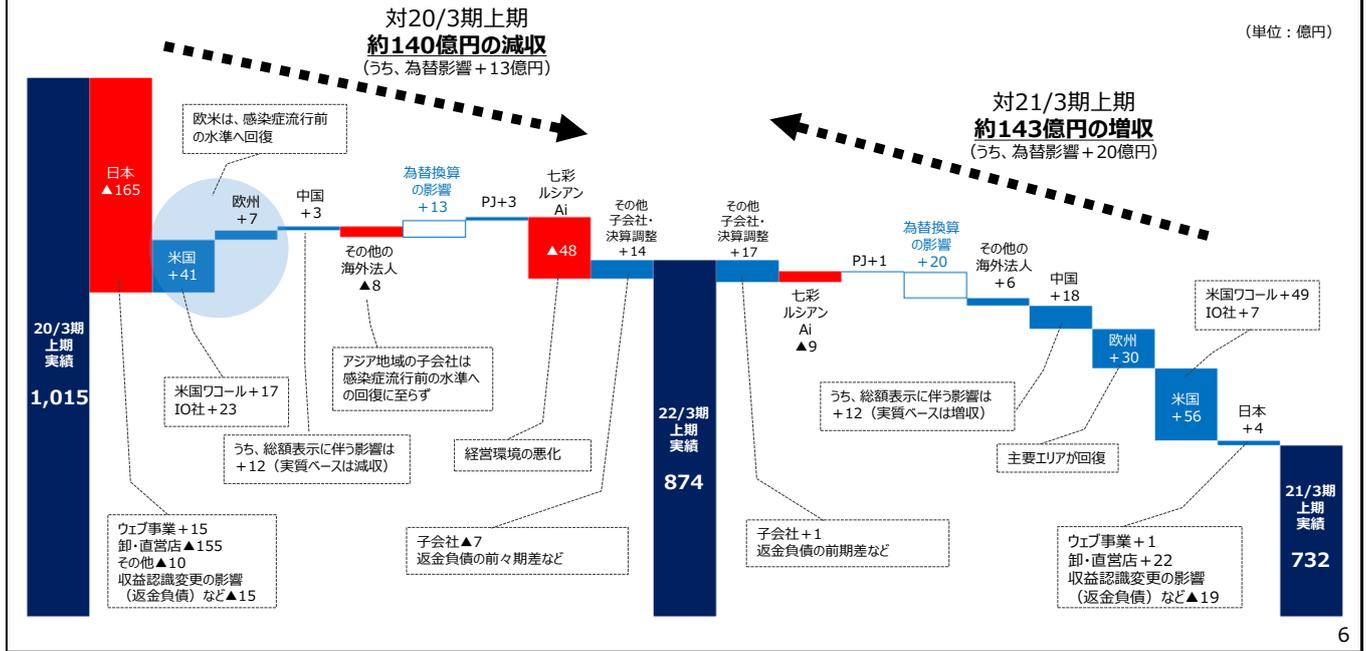
5ページをご覧ください。

この上期を振り返りますと、国・地域におけるワクチン接種の進展や経済活動の再開状況が、ダイレクトに事業環境や業績に影響を与えたと言えます。このページでは、トレンドの違いが顕著に表れた米国、欧州、そして日本のワコールの月次及び四半期ベースの売上高の推移を記載しています。

米国および欧州は、感染症に対する規制の緩和や、経済政策などによる旺盛な個人消費を背景に業績が大きく回復しました。記載の折れ線グラフが示す通り、米国および欧州の売上高は上期のすべての月で感染症流行前の水準を上回って、推移しました。

一方、国内のワコールは、感染症の影響が長期化したことで、売上高の低迷が続きました。第1四半期は営業環境の改善が寄与したことで増収となりましたが、7月の感染者数の急増以降、商業施設への来店客数が大きく減少したことで、第2四半期は大変厳しい業績となりました。スライドの下部に記載した2本の折れ線グラフは、感染症の影響がない20年3月期、19年3月期との比較を示したのですが、感染症流行前の水準からは大きく乖離しています。9月末の緊急事態宣言の解除以降、徐々に売上高は戻りつつあるものの、この上期の国内については、とても厳しい経営環境となりました。

22/3期上期 売上高増減<前年同期・前々年同期差>



6ページをご覧ください。次に、売上高の増減要因をウォーターフォールでまとめています。

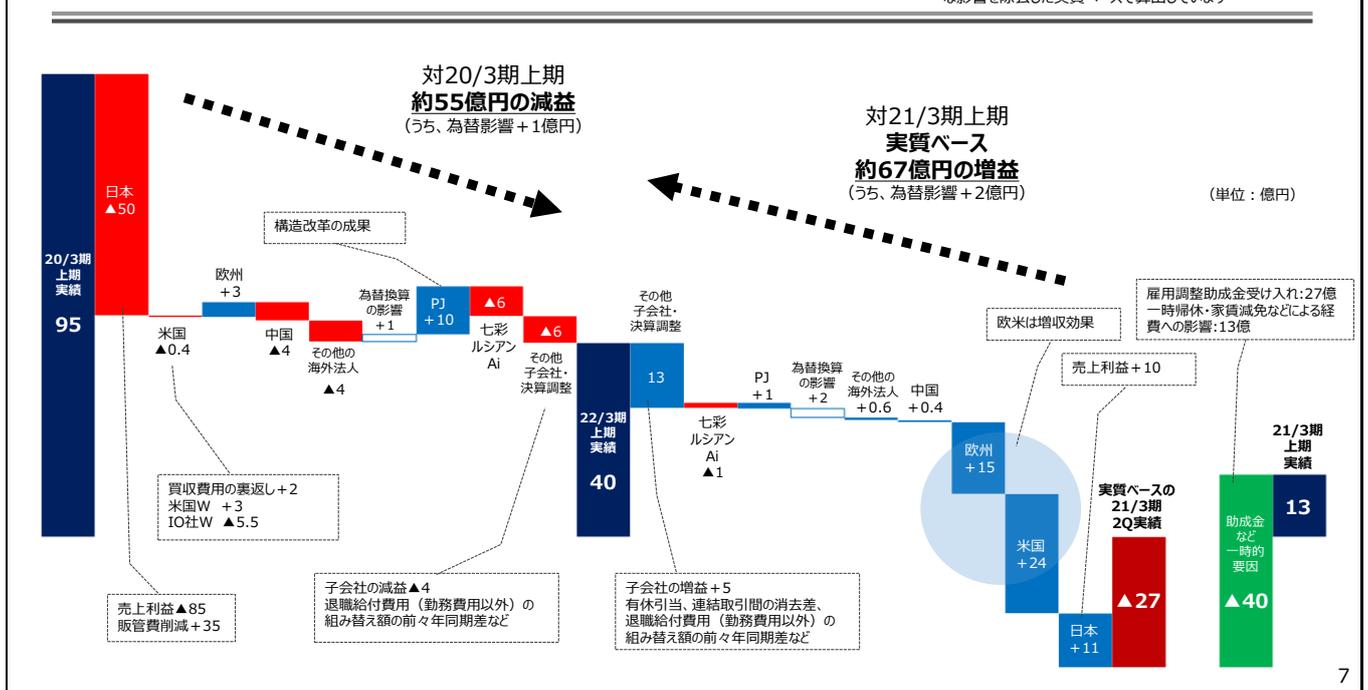
右側が前期との比較、左側が前々期との比較となっています。

右側のボックスが示す通り、感染症の影響を強く受けたワコールは前期並みの水準にとどまりましたが、米国や欧州の業績回復などが寄与し、約143億円の増収となりました。

一方、左側のボックスが示す通り、米国や欧州、ピーチ・ジョンなどが前々期の水準を超えて増収となっていますが、ワコールやその他の子会社の回復が遅れていることもあり、前々期の売上高水準には遠く及んでいません。

22/3期上期 営業利益増減<前年同期・前々年同期差>

※個社の前期差については、雇用調整助成金など一時的な影響を除去した実質ベースで算出しています



7

7ページをご覧ください。こちらのページには、営業損益の増減要因をウォーターフォールでまとめています。

売上高同様に、右側が前期との比較、左側が前々期との比較となります。

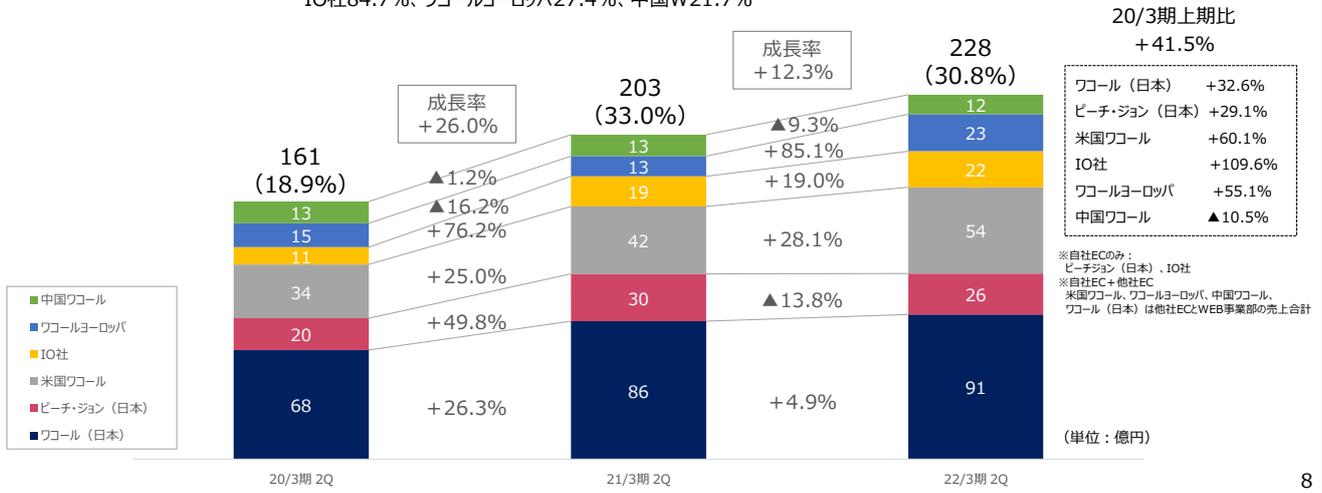
右側のボックスをご覧ください。前期の実績には、雇用調整助成金などの一時的な利益押し上げ要因の影響「約40億円」を含んでいますので、それらを除去した前期の実質ベースの営業損益は27億円の赤字でした。この上期は、欧州・米国の回復とピーチ・ジョンの好調持続が寄与し、営業利益は40億円となりましたので、実質ベースでは67億円の改善となりました。

次に左側のボックスです。感染症の影響を強く受けたことで、ワコールの回復が遅れており、前々期の水準には約55億円届いていません。

EC事業の合計では、前年同期の高い水準をクリアし、2桁成長を実現

➤ 主要6社合計の売上高に占めるEC比率は、30.8%

22/3期上期のEC比率：ワコール（日本）22.8%、ピーチ・ジョン46.1%、米国W44.4%、IO社84.7%、ワコールヨーロッパ27.4%、中国W21.7%



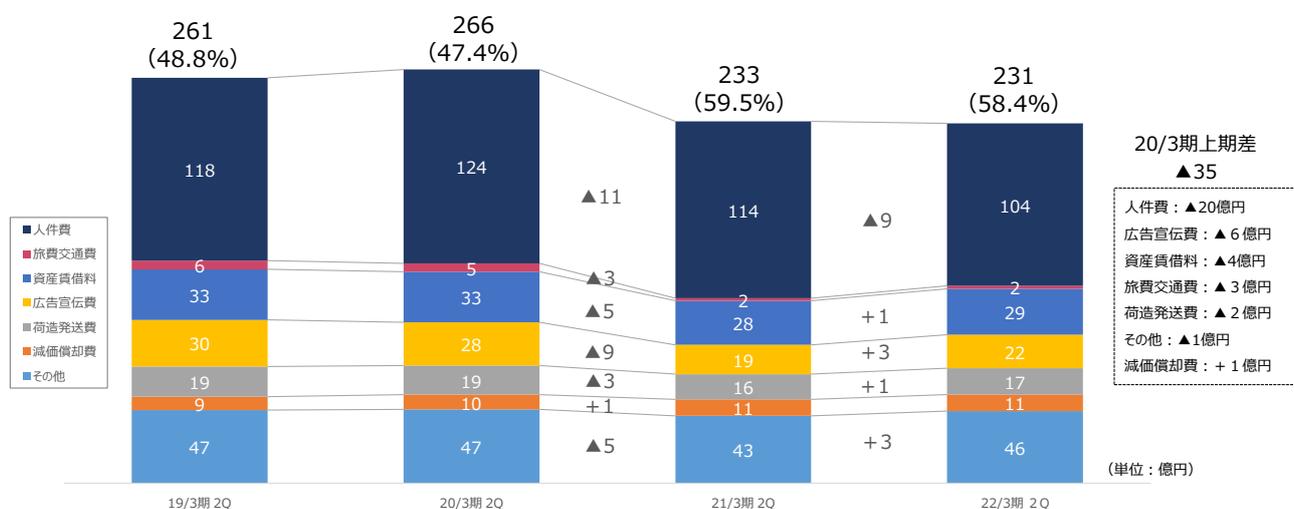
8ページをご覧ください。

このページでは、ワコール、ピーチ・ジョン、米国ワコール、インティメイツ・オンライン社、ワコールヨーロッパ、中国ワコール、以上の6社のEC売上の変化をまとめています。当社グループでは、感染症流行前から自社ECの強化に注力してきました。感染症をきっかけとして巣ごもり需要が拡大する中、その取り組みが大きく効果を発揮し、前期の6社合計のEC売上は前々期に対して26%の増加となりました。

当期についても、アプリやECサイトの利便性向上、プロモーションの強化など、EC事業の強化に引き続き、注力した結果、前期に対して12.3%の増収と高い成長を維持することができました。なお、6社合計の売上高に占めるEC比率は、31%となっています。

要員計画マネジメントは計画通りに進捗するも、トップラインの低迷に伴い、コストは高止まり

➤ 販管費は、20/3期に対して35億円減少（期ずれや一過性影響を除く、実質ベースの減少額：約25億円）



9ページをご覧ください。

収益構造改革の進捗として、改革の柱であるワコールの販管費の削減状況についてご説明します。

要員計画マネジメントの進捗による人件費の抑制を中心に、20年3月期の上期対比で、販管費は約35億円減少しました。売上の低迷を受けた経費の後ろ倒しや、一過性の経費減少要因を除いた実質ベースでも約25億円減少しています。ワコールは、今期の収益構造改革の目標として「40億円」の販管費削減を目指しており、この25億円の削減は計画に対して63%の進捗となります。なお、売上原価に含まれる製造人件費の要員計画マネジメントの効果については、スライドの数値には含まれていません。

感染症の長期化に伴う店頭販売の低迷と、得意先の在庫抑制が響き、5%増収にとどまる

売上高

429億円前年同期差+19億円（+5%）
前々年同期差▲148億円（▲26%）

営業利益

7億円前年同期差▲2億円（▲19%）
※前年同期の雇用調整助成金による利益押し上の裏返しが影響し、セグメント営業利益は減益
前々年同期差▲55億円（▲88%）

マーケット環境：

- 7月以降の感染者数の増大をきっかけに、人混みを回避する動きがより強くなる
- ワクチンの接種が進むも、東京都などの緊急事態宣言の解除は9月下旬まで持ち越される
- 在宅勤務など「おうち時間」が増える中、ECや近場エリアのニーズが高まるなど、生活者の消費行動が変化

(株) ワコールの商況：前年同期比 +1%（収益認識変更の影響を除いた前年同期比：+5%） 前々年同期比 ▲30%

- 店舗：都市部の商業施設への来店客数が低調に推移
※店頭ベースの売上高 百貨店+12%（前々年同期比▲36%） 直営店+4%（前々年同期比▲29%）
量販店 ワコール▲2%（前々年同期比▲30%）、ウイング▲4%（前々年同期比▲29%）
- 自社EC：新規顧客の獲得に苦戦するも、購買率向上などにより前年同期の高いハードルを上回る
※自社ECの売上高 +1%（前々年同期比+67%）

(株) ワコールのコスト構造改革の取り組み：

- 業績の低迷を受けて、コストコントロールを実行。経費を前年同期並みの水準に抑制し、単体で黒字を確保

10

10ページです。

このページより、セグメントごとに上期のマーケット環境と業績を振り返ってまいります。

ワコール事業（国内）の売上高は、429億円となりました。感染症の長期化に伴う店頭販売の低迷と、得意先の在庫抑制などが影響し、5%の増収にとどまる結果となっています。

この上期ですが、全国でワクチンの接種が進みましたが、7月以降の感染症者数の増大もあり、東京都などの緊急事態宣言の解除は9月下旬まで持ち越されることとなりました。また、在宅勤務など「おうち時間」が増える中、近場エリアのニーズが高まる一方で、人混みを回避する行動の変化に伴って都市部への外出を控える動きが続きました。

このような環境の中、自社ECについては新規顧客の獲得に苦戦したものの、購買率の向上などが寄与し、前期の高いハードルを上回ることができました。しかしながら、リアル店舗については、すべてのチャンネルで苦戦することとなりました。

営業利益は7億円となりました。雇用調整助成金による利益押し上げの裏返しがあり、前期実績は下回ったものの、収益構造改革の一環として経費削減に努めたことなどが寄与し、黒字を確保しました。

経済活動の再開が進んだ欧米を中心に売上が回復し、感染症前の水準を上回る

売上高 **324億円** 前年同期差+129億円（+67%）
前々年同期差+55億円（+21%）

営業利益 **27億円** 前年同期差+29億円（前年同期：▲3億円の赤字）
前々年同期差▲4億円（▲13%）

マーケット環境：

- 欧米：ワクチン接種の普及による経済活動の再開や経済政策により、消費が大幅に回復
- 中国：新たなマーケティング手法として、ライブコマースが急成長。インナーウェアのEC市場は、新興ブランドとの競争が激化
- アジア：南アジアや東南アジアなどでの感染拡大に伴い、主要都市部でロックダウン措置が取られる

主要各社の商況（数値は現地通貨ベース）：

- 米国：米国ワコールは、自社ECや百貨店の店頭売上が好調に推移（前年同期比+73% 前々年同期比+17%）
IO社は、SNS広告費の高騰による投下コストの抑制などにより、計画を下回る（前年同期比+36%）
- 欧州：主要エリア（英国・北米・欧州）の売上が回復（前年同期比+66% 前々年同期比+10%）
- 中国：店舗は回復基調も、ECの苦戦が続く（前年同期比+42% 前々年同期比+5%）

上期の取り組み：

- 米国：Digital First Strategy プロジェクトの一環として、デジタル計測アプリ「My Bra Fit」をリリース
- 中国：EC売上回復に向けKOLによるライブ販売などを実施

11ページをご覧ください。ワコール事業（海外）の売上高は324億円となりました。経済活動の再開が進んだ米国、欧州を中心に売上が大きく回復した結果、セグメント合計でも感染症流行前の水準を上回りました。なお、中国は収益認識の変更による売上高の押し上げ効果もあり、前々期に比べ増収となっていますが、新興ブランドとの競争環境の激化によるECの苦戦などが響き、収益認識の変更影響を除去した純額ベースの比較では前々期の水準を下回っています。

営業利益は27億円でした。欧米の増収効果によって大幅な増収となりました。

ピーチ・ジョン：前年同期の高いハードルをクリアし、増益を確保

売上高	61億円	前年同期差+1億円 (+2%) 前々年同期差+3億円 (+5%)	営業利益	11億円	前年同期差+0.4億円 (+4%) 前々年同期差+10億円
------------	-------------	-------------------------------------	-------------	-------------	----------------------------------

各地域の商況：

- 日本：直営店は、感染者数増大が響き、2Q（7-9月）減収も、1Qの回復が寄与（前年同期比+23% 前々年同期比▲11%）
ECは、前年同期のハードルが高く、減収（前年同期比▲14% 前々年同期比+29%）
- 海外：感染症影響による来店客数の減少や、不採算店舗の閉店影響により低迷

その他：感染症の長期化に伴う事業環境の悪化を受け、前年同期の水準を下回る

売上高	59億円	前年同期差▲7億円 (▲10%) 前々年同期差▲50億円 (▲46%)	営業損失	▲5億円	前年同期差▲1億円（前年同期：▲4億円の赤字） 前々年同期差▲6億円（前々年同期：1億円の黒字）
------------	-------------	--	-------------	-------------	---

各社の商況：

- ルシアン：量販店や大手衣料品チェーン向けのプライベートブランド商品の売上が低調に推移
- 七彩：新規出店や各種イベントの中止・延期による工事業の低迷が影響

12ページです。ピーチ・ジョン事業の売上高は、61億円でした。自社ECは巣ごもり需要があった前年のハードルが高く減収となりましたが、第1四半期における直営店の回復が寄与し、増収となりました。営業利益は11億円でした。増収効果に加え、経費削減も寄与し、前期の高い利益水準をクリアしました。その他事業の売上高は59億円でした。感染症の長期化に伴い、ルシアン、七彩、Aiともに厳しい状況が続いており、前期に比べ減収となりました。営業損益は5億円の営業損失でした。収益構造改革の一環としてオペレーションの見直しを進めていますが、売上低迷の影響を大きく受けました。

2021年9月、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言に賛同

2030年に向けた環境活動の目標を策定

- 自社排出量はゼロを目指し、順次再生エネルギーへの切り替えを実施（対象：国内事業）
 - 製品廃棄1%水準をゼロへ。また、工場での残材料破棄削減に向けた取り組みを推進（対象：㈱ワコール）
 - 環境配慮型素材の使用比率を50%までに高める（対象：㈱ワコール）
- サプライチェーンにおける温室効果ガス排出量の削減目標については、22年春に開示（海外事業の取り組みについては、自社排出量の調査から開始し、時期を見て目標設定）

CSR調達活動の推進

- 4度目となる製造委託先工場リストの更新とともに、ウンナナクール、海外子会社3社の工場リストをはじめて開示

ESG活動に対する下期の取り組み

- 事業活動における人権尊重を目的として、22年3月期中に、当社グループの人権方針の改定や、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に準拠した人権デューデリジェンスの実施体制の構築に着手

13ページをご覧ください。ESGに関する取り組みの進捗についてご説明します。

気候変動課題の解決と脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めるべく、上期においては、TCFDの提言に賛同を表明するとともに、2030年に向けた環境活動の目標を設定しました。

まず、国内事業所の自社排出量については、「ゼロ」を目指し、順次、再生エネルギーへの切り替えを進めます。次に、製品破棄「ゼロ」に向けた取り組みを進めるとともに、工場での残材料の廃棄削減に向けた取り組みを強化します。ワコールの製品破棄率は1%水準となっていますが、この水準をさらに引き下げてまいります。3つ目の目標として、環境配慮型素材の使用比率を「50%」にまで高めることに挑戦します。環境配慮型素材の使用比率を高めることによって、環境に負荷の少ない事業活動を推進します。なお、スコープ3や海外事業の排出量の削減目標については、今後、発表していく予定です。

また、CSR調達活動の推進については、4度目となる製造委託先工場リストの更新を行うとともに、ウンナナクール、および海外子会社3社の工場リストをはじめて開示しました。

下期においては、事業活動における人権尊重を目的として、当社グループの人権方針の改定や、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に準拠した人権デューデリジェンスの実施体制の構築に着手する予定です。

通期業績予想の変更なし。諸施策の実行により、当初計画の達成を目指す

▶ 業績予想の見直しが必要と判断した場合は、速やかに新たな見直しを開示

(単位：百万円、%)

	22/3期 通期 計画	22/3期 上期 実績	進捗率	
ワコール事業（国内）	99,300	42,935	43.2	×
ワコール事業（海外）	57,250	32,379	56.6	○
ピーチ・ジョン事業	12,500	6,161	49.3	△
その他事業	14,950	5,944	39.8	×
売上高	184,000	87,419	47.5	△

通期計画に対する進捗

売上：国内の低迷が響き、全体進捗に遅れ

- ▶ 国内事業・その他は、売上低迷により進捗に遅れ
- ▶ 海外事業は、経済回復を背景に順調に進捗

営業利益：海外とPJが貢献し、全体進捗は順調

- ▶ トップラインの低下に伴い、国内事業の進捗は大幅に遅延
- ▶ 海外事業は通期計画を大幅に上回る、PJもほぼ達成

	22/3期 通期 計画	22/3期 上期 実績	進捗率	
ワコール事業（国内）	4,000	740	18.5	×
ワコール事業（海外）	1,140	2,663	233.6	○
ピーチ・ジョン事業	1,100	1,053	95.7	○
その他事業	▲ 240	▲ 480	-	×
営業利益（▲損失）	6,000	3,976	66.3	○

下期に対する考え方

売上：国内外ともに、事業環境の不透明感が高まる

- ▶ ポジティブ…ワクチン接種や規制の緩和による経済回復
- ▶ ネガティブ…感染症再拡大、消費マインドの低下などの懸念、
ベトナム工場の生産停止の影響（10月稼働再開）
海外の成長鈍化（在庫充足の一巡による伸び率低下）

営業利益：市場環境の変化に合わせて、適切に対応

- ▶ ネガティブ…国内事業の回復の遅れ、感染再拡大に伴う売上低下
輸送費や原材料価格の高騰による製造コストの上昇

14ページをご覧ください。

当期の通期業績予想については、現時点で変更はありません。

計画に対する進捗は、売上高、営業利益ともにワコール事業（国内）および、その他事業で遅れていますが、ワコール事業（海外）とピーチ・ジョン事業がけん引し、計画線内で進捗しています。

下期に入っても感染症の収束は未だに見通せず、先行きは極めて不透明な状況です。ワクチン接種や規制の緩和による経済回復の期待が高まる一方で、感染症の再拡大や消費マインドの低下などが懸念されますし、上期に好調に推移した海外事業の成長鈍化の可能性もあります。市場環境の変化に合わせて、適切なコストコントロールを実施しつつ、高収益な経営体質の構築に向けて取り組んでいる諸施策を着実に進めることで、当初計画の達成を目指してまいります。なお、今後の感染症拡大の状況などにより、業績予想の見直しが必要だと判断した場合は、速やかに新たな見直しを開示いたします。

<p>アップサイド リスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 感染症対策の緩和による消費活動の回復 ➢ 国内事業の販管費抑制による上乘せ ➢ 海外事業やPJ事業の売上増加による売上利益の拡大 ➢ 遊休資産の効率的な活用
<p>ダウンサイド リスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 感染症対策の再強化に伴う消費マインドの低下、国内外の売上低迷と利益額の減少 ➢ 国内の既存流通チャネルの縮小など、事業環境の更なる悪化 ➢ 無形・有形固定資産減損損失 ➢ コスト構造改革の追加施策に伴う一時的費用の増加 ➢ 輸送費や原材料価格の高騰による製造コストの上昇 ➢ 生産工場（ベトナム工場など）の生産遅延による販売機会の消失 <div style="background-color: #cccccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>アジア地域における感染拡大により、ベトナムなどの工場の稼働が停止。生産遅れなどにより、9月～12月の期間に発売予定の一部新製品などが後ろ倒しになったため、販売スケジュールの組み直しを行い、全体への影響を緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ ベトナムワコール 7/10～段階的にロックダウン、9月末まで休業。10/1より段階的に再開（10月下旬にほぼ100%稼働） （ルシアンベトナムも、10/7に稼働を再開） ➢ ミャンマーワコール： 政情不安や感染症影響により、長期休業していたが、9月より稼働を再開（ほぼ100%稼働） </div>

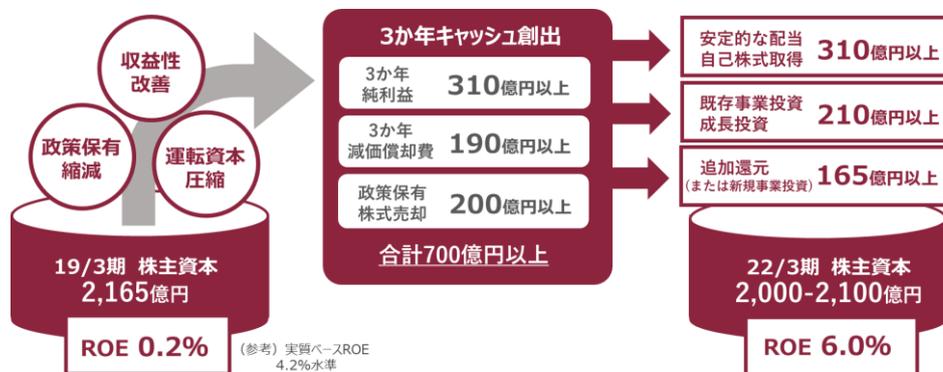
15ページをご覧ください。下期のアップサイド・ダウンサイドそれぞれのリスクについて記載しています。

第1四半期の決算説明において新たなダウンサイドリスクとして記載した「ベトナム工場」については、10月より操業を再開しました。長期の操業停止により、9月から12月に発売予定の一部新商品などが後ろ倒しになったため、販売機会の消失が生じるリスクはありますが、商品の販売スケジュールの見直しなどにより影響を緩和させていく方針です。

このほか、輸送費や原材料価格の高騰が続いており、コスト面への影響も出始めてきています。生産効率向上に取り組むなど、コスト低減への取り組みをグループ全体で強化することで、影響を最小限に留めてまいります。

将来成長への投資を優先すると同時に、株主還元の充実に努める

- 資本コストを上回るROE 6%の達成
- 総還元性向100%の維持
- 政策保有株式の縮減（目標：3割縮減）



16ページをご覧ください。資本政策と株主還元について、ご説明します。こちらは、2019年6月に発表しました、現中期経営計画における資本政策の基本的な方針です。

政策保有株式売却 187億円（進捗度93%） ※19年3月末時点の簿価 ※実際の売却額は191億円

		(単位：億円)			(単位：億円)	
		22/3期 2Q 実績	中計期間 (20/3期~22/3期) 累計	中計期間 (20/3期~22/3期) 計画	22/3期 累計の主な投資内容・投資額	
					内容	金額
創出 キャッシュ	純利益★	28	135	310 以上	ワコール/IT関連投資ほか	14
	減価償却費	30	166	190 以上	ワコール/建物改修ほか	1
	政策保有株式の売却額	14	191	200 以上	国内・子会社関連	3
	合計	72	492	700 以上	海外・子会社関連	5
		★無形固定資産の減損損失、有価証券・投資評価損益を考慮しない純利益を算出しています。			守山流通増築工事	25
使用 キャッシュ	成長投資、および設備投資額	47	284	685 以上		
	配当金支払額	12	99			
	自己株式の取得額	0	77			
	(取得株式数)	0	(2,797千株)			
	合計	60	460			合計
		-配当/自己株取得 310億円以上 -既存事業投資/成長投資 210億円以上 -追加還元または新規事業投資165億円				

■主要KPI

株ワコール 政策保有株式 の売却状況 ★★	売却金額	20	187	200
	目標に対する進捗度合い	10%	93%	
	完全売却銘柄数	5	29	

★2019年3月末時点の簿価で、比較しています。(実際の売却額とは異なります)

17ページをご覧ください。上期の投資実績、ならびに現中計期間における政策保有株式の売却計画に対する進捗度となります。上期における投資については、国内の自社EC成長に向けた滋賀県守山市にある流通センターの拡張工事に関するキャッシュアウトがありました。

なお、上期における政策保有株式の売却につきましては、5銘柄、計20億円の売却を完了しており、現中計で掲げた売却目標に対する進捗率は93%となっています。

配当予想は期初計画通り

- 年間配当予想：期末配当を10円増配し、1株あたり50円
 - 中間配当は当初計画どおり1株当たり20円、期末配当予想は前期実績から10円増配し、1株当たり30円
- 自己株式の取得については、今後の経営状況を見極めたうえで判断

	1株あたりの配当金			配当金総額 (百万円)	実質ベースの 配当性向 (※)
	中間	期末	通期		
2021年3月期	20円	20円	40円	2,496	100.3%
2022年3月期	20円	30円	50円	-	-
前期比	-	+10円	+10円		

(※) 配当性向については、無形固定資産の減損損失および有価証券・投資評価損益を考慮しない実質の当期純利益で算出しています。

18ページをご覧ください。最後のページになります。中間配当については、現段階の業績予想を踏まえ、財務の健全性の維持、および株主の皆さまへの安定配当等の観点から、直近の配当予想通り、1株当たり20円とさせていただきます。期末配当も期初計画に変更はなく、10円増配の1株当たり30円を予定しています。なお、自社株買いにつきましては、今後の経営状況を見極めたうえで、再開を判断いたします。

私からのご説明は以上になります。
ご視聴頂きありがとうございました。

参考1：22/3期 上期 決算概況口 P.20
 参考2：22/3期 上期 決算概況（セグメント別） P.21
 参考3：22/3期 上期 主要子会社の実績口 P.22
 参考4：主要事業会社の月次売上高推移（増減率） P.23
 参考5：ワコール（国内）チャンネル別、店頭ベースの売上高月次推移（増減率） P.24
 参考6：海外主要子会社のチャンネル別売上高月次推移（増減率） P.25
 参考7：22/3期 上期 主要子会社のEC比率口 P.26
 参考8：22/3期 上期 ワコールの概況① <主要事業部の売上高・営業利益> P.27
 参考9：22/3期 上期 ワコールインターナショナル（米国）の概況 P.28
 参考10：22/3期 上期 ワコールヨーロッパの概況 P.29
 参考11：22/3期 上期（1月～6月）中国ワコールの概況 P.30
 参考12：22/3期 上期 その他アジアの概況 P.31
 参考13：22/3期 上期 ピーチ・ジョンの概況 P.32
 参考14：22/3期 上期 国内子会社の概況（ルシアン・七彩・Ai）口 P.33
 参考15：22/3期 通期計画 P.34
 参考16：22/3期 通期計画（セグメント別） P.35
 参考17：22/3期 通期計画（主要子会社） P.36

参考1：22/3期 上期 決算概況

【為替レート】	1 \$	1 £	1 元
	109.8	152.5	16.66

（単位：百万円）

	20/3期 上期実績		21/3期 上期実績		22/3期 上期実績		対20/3期 上期		対21/3期 上期	
	売上高	売上比	売上高	売上比	売上高	売上比	増減額	増減率	増減額	増減率
連結売上高	101,450	-	73,155	-	87,419	-	▲ 14,031	▲ 13.8%	14,264	+19.5%
売上原価	44,992	44.3	32,159	44.0	37,805	43.2	▲ 7,187	▲ 16.0%	5,646	+17.6%
売上利益	56,458	55.7	40,996	56.0	49,614	56.8	▲ 6,844	▲ 12.1%	8,618	+21.0%
販管費	46,963	46.3	39,720	54.3	45,638	52.2	▲ 1,325	▲ 2.8%	5,918	+14.9%
営業利益（▲損失）	9,495	9.4	1,276	-	3,976	4.5	▲ 5,519	▲ 58.1%	2,700	+211.6%
その他の収益・費用	789	0.8	703	1.0	1,326	1.5	537	+68.1%	623	+88.6%
有価証券・投資評価損益（純額）(A)	▲ 958	-	1,624	-	198	-	1,156	-	▲ 1,426	▲ 87.8%
税引前四半期純利益（▲損失）	9,326	9.2	3,603	4.9	5,500	6.3	▲ 3,826	▲ 41.0%	1,897	+52.7%
当社株主に帰属する四半期純利益（▲損失）	6,668	6.6	1,782	2.4	2,983	3.4	▲ 3,685	▲ 55.3%	1,201	+67.4%

実質ベース（参考情報）

Aを考慮しない税引前四半期純利益（▲損失）	10,284	10.1	1,979	2.7	5,302	6.1	▲ 4,982	▲ 48.4%	3,323	+167.9%
-----------------------	--------	------	-------	-----	-------	-----	---------	---------	-------	---------

参考2：22/3期 上期 決算概況（セグメント別）

【為替レート】 1\$ 1£ 1元
109.8 152.5 16.66

(単位：百万円)

	20/3期 上期実績		21/3期 上期実績		22/3期 上期実績		対20/3期 上期		対21/3期 上期	
	構成比		構成比		構成比		増減額	増減率	増減額	増減率
ワコール事業（国内）	57,762	56.9	41,031	56.1	42,935	49.1	▲ 14,827	▲ 25.7%	1,904	+4.6%
ワコール事業（海外）	26,841	26.5	19,448	26.6	32,379	37.0	5,538	+20.6%	12,931	+66.5%
ピーチ・ジョン事業	5,878	5.8	6,067	8.3	6,161	7.0	283	+4.8%	94	+1.5%
その他事業	10,969	10.8	6,609	9.0	5,944	6.8	▲ 5,025	▲ 45.8%	▲ 665	▲ 10.1%
売上高	101,450	100	73,155	100	87,419	100	▲ 14,031	▲ 13.8%	14,264	+19.5%

	20/3期 上期実績		21/3期 上期実績		22/3期 上期実績		対20/3期 上期		対21/3期 上期	
	売上比		売上比		売上比		増減額	増減率	増減額	増減率
ワコール事業（国内）	6,274	10.9	913	2.2	740	1.7	▲ 5,534	▲ 88.2%	▲ 173	▲ 18.9%
ワコール事業（海外）	3,058	11.4	▲ 255	-	2,663	8.2	▲ 395	▲ 12.9%	2,918	-
ピーチ・ジョン事業	61	1.0	1,014	16.7	1,053	17.1	992	+1,626.2%	39	+3.8%
その他事業	102	0.9	▲ 396	-	▲ 480	-	▲ 582	-	▲ 84	-
営業利益（▲損失）	9,495	9.4	1,276	1.7	3,976	4.5	▲ 5,519	▲ 58.1%	2,700	+211.6%

参考3：22/3期 上期 主要子会社の実績

【為替レート】 1\$ 1£ 1元
109.8 152.5 16.66

(単位：百万円)

		売上高						営業利益（▲損失）							
		20/3期 上期実績	21/3期 上期実績	22/3期 上期実績	対20/3期 上期 増減額	増減率	対21/3期 上期 増減額	増減率	20/3期 上期実績	21/3期 上期実績	22/3期 上期実績	対20/3期 上期 増減額	増減率	対21/3期 上期 増減額	増減率
ワコール事業 （国内）	ワコール	55,366	38,450	38,826	▲ 16,540	▲ 29.9%	376	+1.0%	4,991	▲ 985	35	▲ 4,956	▲ 99.3%	1,020	-
	ワコール インターナショナル	10,228	8,511	14,445	4,217	+41.2%	5,934	+69.7%	1,147	▲ 915	1,120	▲ 27	▲ 2.4%	2,035	-
ワコール事業 （海外）	ワコールヨーロッパ	6,993	4,598	8,596	1,603	+22.9%	3,998	+87.0%	668	139	1,107	439	+65.7%	968	+696.4%
	中国ワコール	6,084	4,286	6,585	501	+8.2%	2,299	+53.6%	752	409	389	▲ 363	▲ 48.3%	▲ 20	▲ 4.9%
ピーチ・ジョン事業		5,878	6,067	6,161	283	+4.8%	94	+1.5%	61	1,014	1,053	992	+1,626.2%	39	+3.8%
その他	ルシアン	2,985	2,424	1,753	▲ 1,232	▲ 41.3%	▲ 671	▲ 27.7%	▲ 128	97	▲ 149	▲ 21	-	▲ 246	-
	七彩	4,594	2,835	2,515	▲ 2,079	▲ 45.3%	▲ 320	▲ 11.3%	187	▲ 203	▲ 219	▲ 406	-	▲ 16	-
	A i	2,598	1,017	1,151	▲ 1,447	▲ 55.7%	134	+13.2%	19	▲ 303	▲ 164	▲ 183	-	139	-

【海外主要子会社】（現地通貨ベース） (単位 米国：千US\$ ヨーロッパ：千£ 中国：千元)

ワコール インターナショナル	94,151	79,608	131,558	37,407	+39.7%	51,950	+65.3%	10,550	▲ 8,560	10,212	▲ 338	▲ 3.2%	18,772	-
ワコールヨーロッパ	51,144	33,962	56,370	5,226	+10.2%	22,408	+66.0%	4,873	1,018	7,260	2,387	+49.0%	6,242	+613.0%
中国ワコール	375,527	278,693	395,272	19,745	+5.3%	116,579	+41.8%	46,355	26,589	23,316	▲ 23,039	▲ 49.7%	▲ 3,273	▲ 12.3%

参考4：主要事業会社の月次売上高推移（増減率）

	月次売上高（増減率） ※ 4月～9月の下段は、対20/3期比															
	10月度	11月度	12月度	3Q (中国4Q)	1月度	2月度	3月度	4Q (中国1Q)	4月度	5月度	6月度	1Q (中国2Q)	7月度	8月度	9月度	2Q (中国3Q)
ワコール	+10%	▲1%	+4%	+5%	▲20%	▲25%	▲8%	▲18%	+168%	+39%	+5%	+46%	▲12%	▲17%	▲18%	▲15%
									▲25%	▲30%	▲12%	▲23%	▲15%	▲34%	▲39%	▲30%
米国ワコール	▲3%	+9%	+11%	+4%	▲2%	▲27%	+5%	▲10%	+284%	+149%	+56%	+131%	+37%	+47%	+29%	+37%
									+22%	+12%	+14%	+16%	+25%	+5%	+23%	+17%
ワコールヨーロッパ	▲19%	▲7%	▲15%	▲14%	▲36%	▲32%	+49%	▲12%	+287%	+124%	+64%	+121%	+31%	+36%	+21%	+30%
									+2%	+1%	+31%	+11%	▲0%	+13%	+5%	+6%
中国ワコール	+13%	▲11%	▲4%	▲3%	▲17%	+547%	+52%	+53%	+22%	▲3%	▲10%	+21%	▲12%	▲28%	▲15%	▲19%
									▲23%	+7%	▲14%	▲11%	▲21%	▲16%	▲21%	▲19%
ピーチ・ジョン（国内のみ）	+14%	+23%	+23%	+20%	+9%	+21%	+19%	+16%	+40%	+9%	▲9%	+8%	▲13%	▲3%	+3%	▲5%
									+13%	+1%	+20%	+11%	+21%	+9%	▲6%	+8%
ルシアン（国内のみ）	▲26%	▲26%	▲31%	▲28%	▲6%	▲27%	▲20%	▲18%	+18%	▲10%	▲4%	+1%	▲27%	▲34%	▲29%	▲30%
									▲25%	▲36%	▲24%	▲28%	▲36%	▲48%	▲37%	▲40%
七彩	▲45%	▲47%	▲15%	▲38%	▲35%	▲31%	▲41%	▲37%	+8%	▲12%	▲7%	▲2%	+0%	▲22%	▲14%	▲13%
									▲39%	▲48%	▲43%	▲43%	▲9%	▲40%	▲63%	▲48%
Ai（アイ）	▲22%	▲25%	▲27%	▲24%	▲48%	▲51%	▲12%	▲39%	+181%	+48%	▲18%	+23%	+43%	▲3%	▲23%	+9%
									▲54%	▲61%	▲59%	▲59%	▲44%	▲61%	▲53%	▲53%

- ★ 連結調整前の数値を記載しています。また、内部売上を含んだ前年同月比（増減率）を記載しています
- ★ 米国ワコールは、IO社の売上を含んでいません
- ★ 米国ワコール、ワコールヨーロッパ、中国ワコールは、現地通貨ベースの前年同月比（増減率）を記載しています
- ★ 中国ワコールは、純額ベースの前年同月比（増減率）を記載しています

参考5：ワコール（国内）チャンネル別、店頭ベースの売上高月次推移（増減率）

	店頭ベースの売上高推移（増減率） ※ 4月～9月の下段は、対20/3期比															
	10月度	11月度	12月度	3Q	1月度	2月度	3月度	4Q	4月度	5月度	6月度	1Q	7月度	8月度	9月度	2Q
百貨店	+6%	▲15%	▲15%	▲9%	▲33%	▲17%	+27%	▲9%	+393%	+73%	▲17%	+40%	+14%	▲25%	▲26%	▲7%
									▲36%	▲53%	▲23%	▲38%	▲11%	▲43%	▲48%	▲35%
量販店（ワコールブランド）	+18%	+16%	▲14%	+6%	▲15%	▲8%	▲8%	▲10%	+156%	+36%	▲9%	+29%	+10%	▲44%	▲24%	▲20%
									▲26%	▲30%	▲4%	▲20%	▲17%	▲38%	▲56%	▲37%
量販店（ウイングブランド）	+21%	+6%	▲8%	+5%	▲14%	▲7%	+0%	▲8%	+138%	+16%	▲17%	+16%	▲2%	▲30%	▲12%	▲18%
									▲20%	▲30%	▲9%	▲21%	▲22%	▲30%	▲51%	▲35%
専門店（実店舗）	▲5%	▲6%	▲4%	▲5%	▲2%	▲5%	+10%	+1%	+162%	+62%	▲15%	+30%	▲8%	▲18%	▲17%	▲14%
									▲13%	▲26%	▲22%	▲21%	+7%	▲12%	▲30%	▲12%
スポーツ量販店	▲38%	▲36%	▲29%	▲34%	▲47%	▲42%	+18%	▲31%	+36%	+40%	▲12%	+13%	+81%	▲19%	▲15%	+14%
									▲62%	▲47%	▲62%	▲50%	+8%	▲45%	▲55%	▲31%
他社EC	+27%	+18%	+30%	+25%	+30%	+1%	+20%	+18%	+43%	+1%	+15%	+11%	+18%	+15%	+2%	+12%
									+24%	+25%	+46%	+32%	+25%	+31%	+0%	+17%
直営店	+1%	▲8%	▲15%	▲9%	▲33%	▲10%	▲7%	▲20%	+232%	+71%	▲18%	+33%	▲5%	▲24%	▲26%	▲18%
									▲27%	▲33%	▲16%	▲32%	▲6%	▲26%	▲32%	▲21%
自社EC	+29%	+58%	+79%	+56%	+38%	+45%	+22%	+34%	▲8%	▲13%	+5%	▲6%	+7%	+12%	+7%	+9%
									+62%	+79%	+94%	+79%	+53%	+75%	+44%	+56%
自社カタログ	+2%	+10%	+21%	+9%	+39%	▲10%	+2%	+5%	+20%	▲10%	+3%	+4%	+32%	+29%	+5%	+19%
									▲6%	+6%	+6%	+14%	+6%	▲33%	▲6%	+5%
店頭ベースの売上高 合計	+9%	+0%	▲5%	+1%	▲15%	▲7%	+9%	▲5%	+121%	+27%	▲11%	+23%	+6%	▲20%	▲15%	▲9%
									▲20%	▲27%	▲7%	▲18%	▲4%	▲23%	▲37%	▲22%

- ★ 店頭ベースの売上高が、把握できる店舗のみの実績集計を開示しています
- ★ 21年4月以降の直営店の売上高については、直営店で展開するブランドの自社EC売上を除いて、算出しています

参考6：海外主要子会社のチャネル別売上高月次推移（増減率）

		主要子会社チャネル別売上高推移（増減率） ※ 4月～9月の下段は、対20/3期比															
		10月度	11月度	12月度	3Q (中値4Q)	1月度	2月度	3月度	4Q (中値1Q)	4月度	5月度	6月度	1Q (中値2Q)	7月度	8月度	9月度	2Q (中値3Q)
米国ワコール	百貨店	▲ 25%	▲ 3%	▲ 6%	▲ 14%	▲ 8%	▲ 49%	▲ 24%	▲ 32%	+1,260%	+1,540%	+185%	+495%	+69%	+89%	+36%	+62%
	百貨店EC	+14%	+33%	+11%	+19%	▲ 9%	▲ 13%	+30%	+3%	+1,957%	+235%	+15%	+114%	+8%	▲ 12%	▲ 9%	▲ 5%
	専業EC	+39%	+51%	+35%	+42%	▲ 18%	▲ 6%	+31%	+4%	+202%	▲ 22%	▲ 17%	+27%	+37%	+46%	+35%	+47%
	自社EC	+37%	+53%	+49%	+46%	+36%	+33%	+81%	+48%	+34%	▲ 4%	▲ 4%	+8%	+4%	+11%	+39%	+16%
	合計	▲ 3%	+9%	+11%	+4%	▲ 2%	▲ 27%	+5%	▲ 10%	+284%	+149%	+56%	+131%	+37%	+47%	+29%	+37%
ワコールヨーロッパ	百貨店	▲ 17%	▲ 36%	▲ 39%	▲ 30%	▲ 57%	▲ 51%	+16%	▲ 36%	+682%	+1,232%	+216%	+393%	+70%	+5%	+21%	+26%
	専門店	▲ 27%	▲ 5%	▲ 8%	▲ 15%	▲ 38%	▲ 35%	+34%	▲ 18%	+331%	+118%	+72%	+127%	+42%	+60%	+33%	+45%
	他社EC	+6%	+24%	▲ 26%	+0%	▲ 16%	▲ 10%	+64%	+11%	+274%	+167%	+54%	+142%	+5%	+19%	+2%	+20%
	合計	▲ 19%	▲ 7%	▲ 15%	▲ 14%	▲ 36%	▲ 32%	+49%	▲ 12%	+287%	+124%	+64%	+121%	+31%	+36%	+21%	+30%
中国ワコール	百貨店・MALL・アットレットなど	+5%	▲ 6%	+2%	+0%	▲ 23%	+1,244%	+117%	+79%	+26%	+3%	▲ 6%	+6%	▲ 10%	▲ 33%	▲ 17%	▲ 20%
	他社EC	+80%	▲ 18%	▲ 29%	▲ 10%	+39%	▲ 14%	▲ 27%	▲ 13%	▲ 7%	▲ 29%	▲ 15%	▲ 18%	▲ 27%	▲ 6%	▲ 4%	▲ 11%
	合計	+13%	▲ 11%	▲ 4%	▲ 3%	▲ 17%	+547%	+52%	+53%	+22%	▲ 3%	▲ 10%	+21%	▲ 12%	▲ 28%	▲ 15%	▲ 19%

★ 連結調整前の数値を記載しています。また、内部売上を含んだ前年同月比（増減率）を記載しています
 ★ 米国ワコール、ワコールヨーロッパ、中国ワコールは、現地通貨ベースの前年同月比（増減率）を記載しています
 ★ 中国ワコールは、純額ベースの前年同月比（増減率）を記載しています

参考7：22/3期 上期 主要子会社のEC比率

ワコール（日本）の集計方法を変更し、自社EC（カタログ通販含む）と他社ECの合計の売上高比率を記載しています

		20/3期					21/3期					22/3期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
ワコール（日本）	自社EC（カタログ通販含む）・他社EC	13%	12%	15%	15%	13%	35%	16%	19%	19%	21%	24%	22%	-	-	23%
ピーチ・ジョン（日本）	自社EC	39%	39%	38%	43%	40%	64%	46%	45%	49%	50%	49%	43%	-	-	46%
米国ワコール	自社EC・他社EC	35%	31%	36%	36%	34%	78%	52%	47%	49%	54%	45%	44%	-	-	44%
IO社	自社EC	100%	100%	100%	100%	100%	100%	97%	91%	83%	92%	85%	84%	-	-	85%
ワコールヨーロッパ	自社EC・他社EC	22%	19%	20%	24%	21%	39%	29%	27%	32%	31%	29%	25%	-	-	27%
中国ワコール	他社EC	19%	26%	18%	31%	24%	33%	31%	18%	28%	27%	19%	25%	-	-	22%
主要会社のEC比率（上位6社合計）★		20%	18%	20%	23%	20%	45%	26%	26%	30%	30%	32%	30%	-	-	31%

★ 個社のEC比率は、現地通貨ベースで算出。6社合計の売上高比率のみ、各決算時のレートを使用して、算出

参考8：22/3期 上期 ワコールの概況 <主要事業部の売上高・営業利益>

感染症拡大や天候不順などによる消費者マインドの悪化が響き、2Q失速

売上高 **388億円** 前年同期差+4億円(+1%) ※収益認識変更の影響を除いた前年同期比：+5% 前々年同期差▲165億円(▲30%)

- 度重なる緊急事態宣言の発出や天候不順により、店舗への来店客数が低調に推移
- 自社ECについては、計画を上回る購買率の確保により「巣ごもり需要」があった前年同期の高いハードルをクリア

営業利益 **0.4億円** 前年同期差+10億円 前々年同期差▲50億円

- 売上低迷が響くも、経費削減に努めた結果、黒字を確保

(単位：百万円)

	20/3期 上期実績	21/3期 上期実績	22/3期 上期実績	対20/3期		対21/3期	
				増減額	増減率	増減額	増減率
第1ブランドグループ	22,976	15,217	16,305	▲ 6,671	▲ 29.0%	1,088	+7.1%
第2ブランドグループ	18,924	13,830	14,602	▲ 4,322	▲ 22.8%	772	+5.6%
第3ブランドグループ	8,971	6,911	6,916	▲ 2,055	▲ 22.9%	5	+0.1%
ウエルネス事業部	2,620	1,334	1,664	▲ 956	▲ 36.5%	330	+24.8%
WEB事業部	4,086	5,564	5,646	1,560	+38.2%	81	+1.5%
その他売上・内部消去・調整など	▲ 2,210	▲ 4,406	▲ 6,306	▲ 4,096	+185.4%	▲ 1,900	-
売上高合計 (外部売上のみ)	55,366	38,450	38,826	▲ 16,540	▲ 29.9%	376	+1.0%
売上高合計 (内部売上含む)	56,204	39,130	39,658	▲ 16,546	▲ 29.4%	528	+1.3%
第1ブランドグループ	3,238	2,254	2,259	▲ 979	▲ 30.2%	5	+0.2%
第2ブランドグループ	1,386	831	902	▲ 484	▲ 34.9%	72	+8.6%
第3ブランドグループ	1,199	548	449	▲ 750	▲ 62.5%	▲ 99	▲ 18.0%
ウエルネス事業部	285	▲ 83	17	▲ 269	▲ 94.2%	100	-
WEB事業部	200	476	265	65	+32.8%	▲ 211	▲ 44.4%
間接部門 販管費	▲ 1,317	▲ 5,010	▲ 3,857	▲ 2,540	+193.0%	1,153	-
ワコール 営業利益 (▲損失) 合計	4,991	▲ 985	35	▲ 4,956	▲ 99.3%	1,020	▲ 103.6%

参考9：22/3期 上期 ワコールインターナショナル (米国) の概況

感染症対策の緩和による個人消費の回復を背景に、米国ワコール・IO社ともに大幅増収

売上高 **144億円** 前年同期差+59億円(+70%) ※現地通貨ベースの前年同期比+65% 前々年同期差+42億円(+41%)

- 米国ワコール：実店舗チャンネル+157% ECチャンネル+25% (内訳：百貨店EC+35% 専業EC+37% 自社EC+12%)
- IO社：24.2百万ドル (+36%)

営業利益 **11億円** 前年同期差+20億円 ※現地通貨ベースの前年同期差+19百万ドル 前々年同期差▲0.3億円(▲2%)

- 米国ワコールは、増収効果に加え、売上利益率の改善が寄与し、大幅な増益
- IO社は、マーケティング効率の低下により、計画値を下回る ※現地通貨ベース▲7.2百万ドル (前年同期▲8.6百万ドル)

(単位：千ドル)

		対20/3期			対21/3期			構成比★	
		1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期		
チャンネル	店舗	百貨店	▲ 2%	▲ 5%	▲ 4%	+495%	+62%	+154%	54%
		アウトレット・直営店	+85%	+80%	+83%	+10,142%	+170%	+458%	
		店舗計	▲ 1%	▲ 5%	▲ 3%	+507%	+63%	+157%	
	EC	百貨店EC	+45%	+20%	+33%	+114%	▲ 9%	+35%	46%
		専業EC	+34%	+95%	+60%	+27%	+47%	+37%	
	自社EC	+75%	+88%	+81%	+8%	+16%	+12%		
	EC計	+52%	+66%	+58%	+35%	+16%	+25%		
地域	米国	+19%	+18%	+19%	+124%	+34%	+69%	93%	
	カナダ	▲ 3%	+11%	+5%	+527%	+127%	+209%	4%	
	他地域	▲ 29%	+1%	▲ 13%	+274%	+70%	+113%	3%	

	米国ワコール		IO社
売上高	108,984	24,199	
対21/3期 上期	+73%	+36%	
対20/3期 上期	+17%	+646%	
営業損益	17,341	▲ 7,198	
(21/3期 上期実績)	▲ 29	▲ 8,564	
(20/3期 上期実績)	14,306	▲ 1,793	

ブランド名	対20/3期			対21/3期			構成比
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	
WACOAL	+10%	+14%	+12%	+125%	+39%	+72%	73%
B.tempt'd	+106%	+49%	+73%	+309%	+37%	+105%	8%
CW-X	+45%	+48%	+46%	+3%	+40%	+17%	1%
LIVELY	-	+212%	+646%	+69%	+5%	+35%	18%

★構成比は22/3期 上期の値であり、チャンネル構成比は輸出売上を除いて算出しています

参考10：22/3期 上期 ワコールヨーロッパの概況

主要地域である英国・欧州・北米の経済回復を受け、好調に推移

売上高 **86億円** 前年同期差+40億円(+87%) ※現地通貨ベースの前年同期比+66% 前々年同期差+16億円(+23%)

- 各地域で大幅に回復 英国+77% (▲2%)、北米+67% (+20%) 欧州+48% (+7%) ※ () 内は前々年同期比
- 20/3期にスタートした自社ECチャネルも計画を超えて進捗

営業利益 **11億円** 前年同期差+10億円 ※現地通貨ベースの前年同期差+6百万ポンド 前々年同期差+4億円(+66%)

- 増収効果により増益

チャネル	店舗	対20/3期			対21/3期			構成比★
		1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	
百貨店	百貨店	▲15%	▲12%	▲13%	+393%	+26%	+91%	17%
	専門店	+9%	+7%	+8%	+127%	+45%	+75%	52%
	直営店	▲8%	▲39%	▲23%	▲11%	▲50%	▲32%	4%
EC	他社EC	+43%	+34%	+39%	+107%	+32%	+64%	27%
ブランド★★	Fantasia	+6%	+5%	+5%	+188%	+47%	+93%	33%
	Freya	+0%	▲8%	▲4%	+97%	+2%	+38%	22%
	Goddess	+11%	▲5%	+3%	+56%	+4%	+25%	5%
	Elomi	+28%	+34%	+31%	+119%	+50%	+77%	28%
	Wacoal	+18%	▲12%	+0%	+113%	+22%	+52%	12%
	B.Tempted	▲63%	▲82%	▲73%	+0%	▲77%	▲55%	0%

	対20/3期			対21/3期			構成比
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	
英国	▲11%	+7%	▲2%	+155%	+41%	+77%	32%
欧州	+12%	+2%	+7%	+89%	+22%	+48%	24%
北米	+29%	+10%	+20%	+130%	+26%	+67%	34%
その他	+29%	▲7%	+9%	+108%	+22%	+54%	10%

★各構成比は22/3期 上期の値です ★★ブランドの増減率・構成比は、インナーウェア・スィムウェアを合計して集計しています

参考11：22/3期 上期（1月～6月） 中国ワコールの概況

前年同期の感染症による売上低迷の反動から、実店舗は復調するも、ECは競争激化により苦戦

売上高 **66億円** 前年同期差+23億円(+54%) ※現地通貨ベースの前年同期比+42% 前々年同期差+5億円(+8%)

- 総額表示に伴う売上への影響は12億円（邦貨換算：純額ベース前年同期比+26% 前々年同期比▲12%）
- 前年同期の感染症影響の反動もあり、百貨店を中心に店舗の売上が回復
- ECについては、新興ブランドの台頭などによる競争環境の悪化を受けて、苦戦

営業利益 **4億円** 前年同期比▲0.2億円 ※現地通貨ベースの前年同期比▲12% 前々年同期差▲4億円(▲48%)

- 前年同期の政府の支援策の裏返しに加え、一過性の会計処理の影響などにより減益

チャネル	百貨店・MALL・アウトレット	対20/3期			対21/3期			構成比★
		1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	
百貨店	百貨店・MALL・アウトレット	▲10%	▲6%	▲8%	+86%	+9%	+39%	76%
	代理商	▲38%	▲44%	▲41%	+39%	▲12%	+8%	3%
	他社EC	▲10%	▲15%	▲13%	▲12%	▲20%	▲16%	21%
ブランド	ワコール	▲9%	▲8%	▲9%	+54%	+1%	+22%	85%
	サルート	▲3%	+10%	+2%	+93%	+9%	+42%	10%
	アンフィ	+227%	+169%	+196%	▲13%	▲5%	▲10%	1%
	ピーチ・ジョン	▲45%	▲49%	▲47%	+3%	▲34%	▲19%	4%

★構成比は22/3期1月～9月累計の値です

資料12：22/3期 上期 その他アジアの概況

香港ワコール、ワコールインターナショナル香港、ワコールシンガポール、フィリピンワコール、ワコールインドア
(以下、工場) 大連ワコール、広東ワコール、ベトナムワコール、ミャンマーワコール、Aテック、Gテック、
ほか1社の売上及び、ワコール事業(海外)の決算調整を含んだ数値

前年同期から営業環境は改善するも、依然として多くの国・地域で感染症の影響が強く残る

売上高

28億円 前年同期差+7億円(+34%) 前々年同期差▲8億円(▲22%)

- 香港、シンガポール、フィリピン、インド：各国で状況は異なるものの、感染症拡大の影響を大きく受けた前年同期からは増収
- Aテックは、トリコット(経編)を中心に受注が順調に伸びたことで、増収を確保

営業利益

0.5億円 前年同期差▲0.7億円 前々年同期差▲4億円(▲90%)

- 売上回復や経費削減の継続により黒字転換

	対20/3期			対21/3期		
	1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期
香港ワコール★	▲4%	+11%	+4%	+28%	+22%	+24%
シンガポール	▲26%	▲16%	▲21%	+321%	▲17%	+34%
フィリピン	▲42%	▲37%	▲40%	+365%	+53%	+137%
インド	▲27%	+44%	+15%	+426%	+163%	+203%
Aテック★	▲16%	▲20%	▲18%	▲5%	+91%	+28%
Gテック★	▲63%	▲55%	▲59%	▲52%	+18%	▲30%

★香港ワコール・Aテック・Gテックは12月決算です

資料13：22/3期 上期 ピーチ・ジョンの概況

ECは、伸長した前年同期の水準を下回るも、店舗は順調。営業利益も高い水準をクリア

売上高

62億円 前年同期差+1億円(+2%) 前々年同期差+3億円(+5%)

- 店舗は感染者数の増大を受け、7月以降失速するも、1Qの売上回復が寄与し、増収
- 自社ECは、「巣ごもり需要」が急拡大した前年同期のハードルが高く減収

営業利益

11億円 前年同期差+0.4億円(+4%) 前々年同期差+10億円

- 増収効果に加え、販促費の抑制などにより増益

		対20/3期			対21/3期			構成比★
		1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	
国内	通販事業	+40%	+20%	+29%	▲17%	▲11%	▲14%	49%
	店舗事業	▲13%	▲8%	▲11%	+91%	▲5%	+23%	39%
	その他事業	+22%	+50%	+36%	▲11%	+14%	+1%	12%

★構成比は、22/3期 上期の値です。

		対20/3期			対21/3期		
		1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期
海外★★	香港	▲34%	▲10%	▲24%	▲7%	+1%	▲3%
	台湾(店舗+EC)	▲33%	▲18%	▲26%	▲23%	▲16%	▲19%
	上海・北京他(直営店)	▲53%	▲68%	▲61%	+25%	▲42%	▲16%
	上海・北京他(他社EC)	▲44%	▲32%	▲38%	▲2%	▲22%	▲14%
	上海・北京他 合計	▲47%	▲45%	▲46%	+5%	▲27%	▲14%

★★現地通貨ベースでの増減率です。各地域における直営店・ECの売上の増減率であり、連結子会社のPJ香港、PJ上海の売上増減率とは異なります(上海・北京他は、1月~6月の数値)

資料14：22/3期 上期 国内子会社の概況（ルシアン・七彩・Ai）

ルシアン：得意先向けのPB商品の売上低迷などが響き、経費削減に努めるも赤字幅が拡大

売上高	17.5億円	前年同期差▲6.7億円（▲28%） 前々年同期差▲12.3億円（▲41%）	対20/3期			対21/3期			構成比★	
			1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期		
営業損失	▲1.5億円	前年同期差▲2.5億円 前々年同期差▲0.2億円	インナー	▲23%	▲35%	▲29%	+2%	▲31%	▲17%	76%
			刺しゅう	+10%	▲2%	+4%	+8%	▲14%	▲4%	15%
			レース他	▲22%	▲72%	▲67%	+25%	▲36%	▲26%	9%

★構成比は、22/3期 上期の値です

七彩：感染症拡大に伴う得意先の新規出店・改装の見直しや延期により、工事受注が大幅に減少

売上高	25.2億円	前年同期差▲3.2億円（▲11%） 前々年同期差▲20.8億円（▲45%）	対20/3期			対21/3期			構成比★	
			1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期		
営業損失	▲2.2億円	前年同期差▲0.2億円 前々年同期差▲4.1億円	レンタル事業	▲37%	▲31%	▲34%	+11%	▲6%	+1%	24%
			物販事業	▲30%	▲23%	▲26%	+16%	▲15%	▲3%	21%
			工事業	▲49%	▲58%	▲54%	▲14%	▲15%	▲14%	55%

★構成比は、22/3期 上期の値です

Ai（アイ）：感染症によりリゾートウェア需要が大幅に減少、経費削減により赤字幅は縮小

売上高	11.5億円	前年同期差+1.3億円（+13%） 前々年同期差▲14.5億円（▲56%）	対20/3期			対21/3期			構成比★	
			1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期		
営業損失	▲1.6億円	前年同期差+1.4億円 前々年同期差▲1.8億円	リゾートウェア事業	▲76%	▲59%	▲64%	+20%	+35%	+32%	62%
			下着事業	▲21%	▲24%	▲23%	+25%	▲23%	▲6%	38%

★構成比は、22/3期 上期の値です

参考15：22/3期 通期計画

【為替レート】	1 \$	1 £	1 円
	108.00	150.00	16.50

（単位：百万円）

	20/3期 実績		21/3期 実績		22/3期 計画		対20/3期		対21/3期	
	売上高	売上比	売上高	売上比	売上高	売上比	増減額	増減率	増減額	増減率
連結売上高	186,760	-	152,204	-	184,000	-	▲2,760	▲1.5%	31,796	+20.9%
売上原価	84,959	45.5	67,798	44.5	80,000	43.5	▲4,959	▲5.8%	12,202	+18.0%
売上利益	101,801	54.5	84,406	55.5	104,000	56.5	2,199	+2.2%	19,594	+23.2%
販管費	94,696	50.7	82,836	54.4	98,000	53.3	3,304	+3.5%	15,164	+18.3%
のれん及びその他の無形固定資産減損損失 (A)	473	0.3	2,685	1.8			-	-	-	-
営業利益	6,632	3.6	▲1,115	-	6,000	3.3	▲632	-	7,115	▲638.1%
その他の収益・費用	1,487	0.8	1,517	1.0	1,900	1.0	413	+27.8%	383	+25.2%
有価証券・投資評価損益（純額）(B)	▲3,760	-	10,390	6.8			3,760	-	▲10,390	-
税引前純利益	4,359	2.3	10,792	7.1	7,900	4.3	3,541	+81.2%	▲2,892	▲26.8%
当社株主に帰属する純利益	3,472	1.9	7,025	4.6	5,500	3.0	2,028	+58.4%	▲1,525	▲21.7%
実質ベース（参考情報）										
Aを考慮しない営業利益	7,105	3.8	1,570	1.0	6,000	3.3	▲1,105	▲15.6%	4,430	+282.2%
AとBを考慮しない税引前純利益	8,592	4.6	3,087	2.0	7,900	4.3	▲692	▲8.1%	4,813	+155.9%

参考16：22/3期 通期計画（セグメント別）

【為替レート】	1 \$	1 £	1 元
	108.00	150.00	16.50

(単位：百万円)

	20/3期 実績		21/3期 実績		22/3期 計画		対20/3期		対21/3期	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率	増減額	増減率
ワコール事業（国内）	106,112	56.8	86,133	56.6	99,300	54.0	▲ 6,812	▲ 6.4%	13,167	+15.3%
ワコール事業（海外）	49,808	26.7	41,355	27.2	57,250	31.1	7,442	+14.9%	15,895	+38.4%
ピーチ・ジョン事業	11,224	6.0	12,200	8.0	12,500	6.8	1,276	+11.4%	300	+2.5%
その他事業	19,616	10.5	12,516	8.2	14,950	8.1	▲ 4,666	▲ 23.8%	2,434	+19.4%
売上高	186,760	100	152,204	100	184,000	100	▲ 2,760	▲ 1.5%	31,796	+20.9%

	20/3期 実績		21/3期 実績		22/3期 計画		対20/3期		対21/3期	
		売上比		売上比		売上比	増減額	増減率	増減額	増減率
ワコール事業（国内）	6,083	5.7	627	0.7	4,000	4.0	▲ 2,083	▲ 34.2%	3,373	+538.0%
ワコール事業（海外）	1,493	3.0	▲ 2,603	-	1,140	2.0	▲ 353	▲ 23.6%	3,743	-
ピーチ・ジョン事業	▲ 351	-	1,591	13.0	1,100	8.8	1,451	-	▲ 491	▲ 30.9%
その他事業	▲ 593	-	▲ 730	-	▲ 240	-	353	-	490	-
営業利益（▲損失）	6,632	3.6	▲ 1,115	-	6,000	-	▲ 632	▲ 9.5%	7,115	-

参考17：22/3期 通期計画（主要子会社）

【為替レート】	1 \$	1 £	1 元
	108.00	150.00	16.50

(単位：百万円)

		売上高						営業利益（▲損失）							
		20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 計画	対20/3期 増減額	対20/3期 増減率	対21/3期 増減額	対21/3期 増減率	20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 計画	対20/3期 増減額	対20/3期 増減率	対21/3期 増減額	対21/3期 増減率
ワコール事業 （国内）	ワコール	99,224	79,877	91,548	▲ 7,676	▲ 7.7%	11,671	+14.6%	3,140	▲ 2,022	3,600	460	+14.6%	5,622	-
	ワコール インターナショナル	19,194	17,649	23,009	3,815	+19.9%	5,360	+30.4%	401	▲ 914	108	▲ 293	▲ 73.1%	1,022	-
ワコール事業 （海外）	ワコールヨーロッパ	12,988	9,896	14,188	1,200	+9.2%	4,292	+43.4%	1,007	666	642	▲ 365	▲ 36.2%	▲ 24	▲ 3.6%
	中国ワコール★	10,337	8,755	13,367	3,030	+29.3%	4,612	+52.7%	923	625	759	▲ 164	▲ 17.8%	134	+21.4%
ピーチ・ジョン事業		11,224	12,200	12,500	1,276	+11.4%	300	+2.5%	▲ 351	1,591	1,100	1,451	-	▲ 491	▲ 30.9%
その他	ルシアン	5,760	4,614	5,300	▲ 460	▲ 8.0%	686	+14.9%	▲ 478	221	124	602	-	▲ 97	▲ 43.9%
	七彩	8,718	5,312	6,300	▲ 2,418	▲ 27.7%	988	+18.6%	218	▲ 358	▲ 250	▲ 468	-	108	-
	A i	3,597	1,700	2,636	▲ 961	▲ 26.7%	936	+55.1%	▲ 269	▲ 613	3	272	-	616	-

★中国ワコールは22/3期計画より、百貨店等の売上高を総額表示（店頭価格ベース）に変更しています（21/3期以前は純額表示（卸値ベース））

【海外主要子会社】（現地通貨ベース）（単位：米：千US\$ ヨーロッパ：千£ 中国：千円）

ワコール インターナショナル	176,508	166,402	213,042	36,534	+20.7%	46,640	+28.0%	3,694	▲ 8,621	1,000	▲ 2,694	▲ 72.9%	9,621	-
ワコールヨーロッパ	93,954	71,360	94,589	635	+0.7%	23,229	+32.6%	7,290	4,796	4,279	▲ 3,011	▲ 41.3%	▲ 517	▲ 10.8%
中国ワコール★	655,073	565,585	810,100	155,027	+23.7%	244,515	+43.2%	58,468	40,246	46,000	▲ 12,468	▲ 21.3%	5,754	+14.3%

★中国ワコールは22/3期計画より、百貨店等の売上高を総額表示（店頭価格ベース）に変更しています（21/3期以前は純額表示（卸値ベース））

この資料に掲載されている情報のうち、将来の業績に関する見通しについては、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、その実現・達成を保証又は約束するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。これらの情報の掲載にあたっては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りに関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。